

地域支援プログラムの基本フロー

ビデオ学習と課題 ワーキング ビデオ講義の視聴

約半月間

宿題の提出

次回ロールプレイング集合学習

1 DAY
ワークショップ

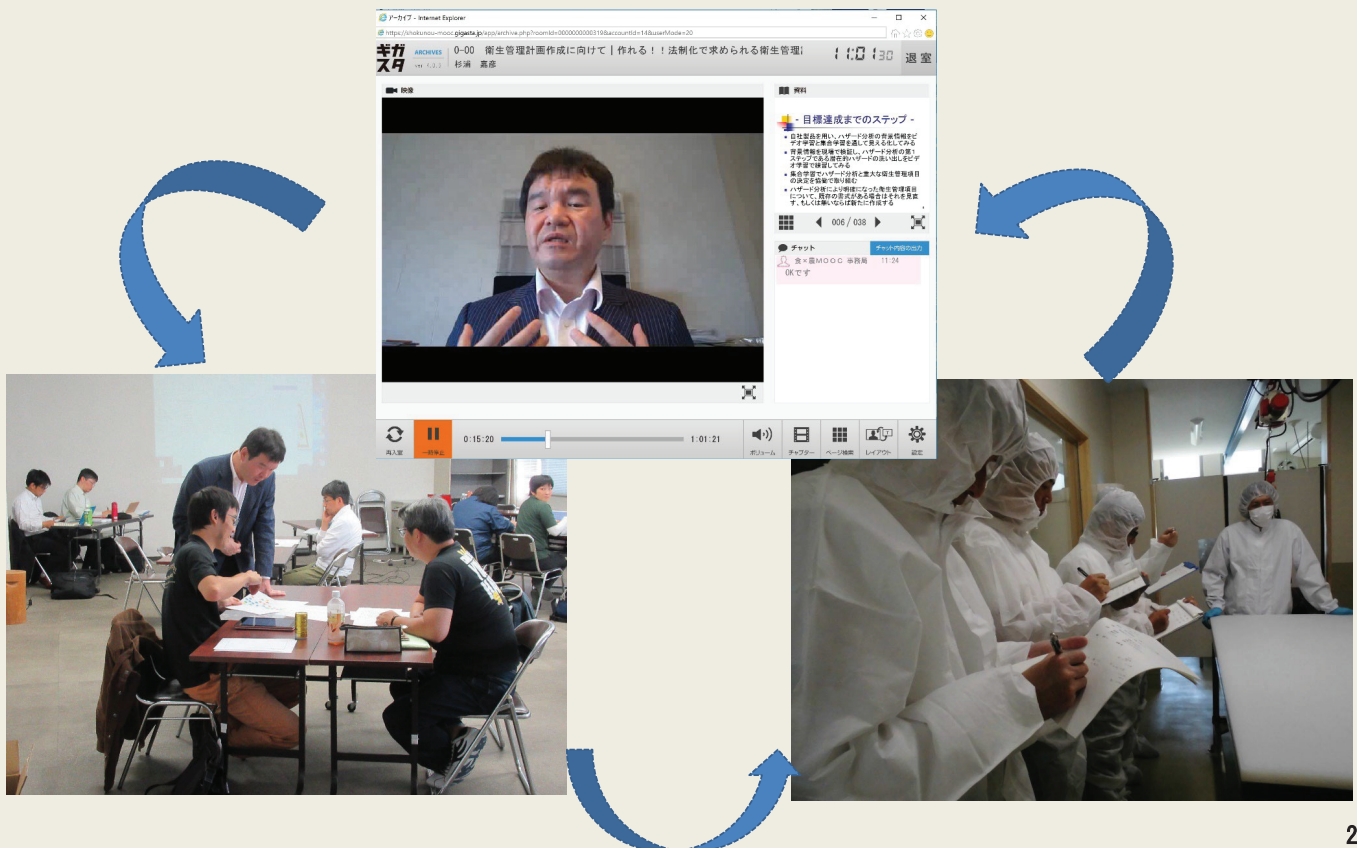
次のビデオ学習へ ステップアップ

2週間ほど
間を置いて

- ビデオ学習で自社の見える化を学びご自身で宿題にチャレンジします。
- 集合学習では、宿題の内容を講師と見直しをします。
- 衛生管理計画の完成までこのステップを繰り返します。
- 途中で現場指導により計画の有効性と実施状況等を検証します。

1

開催イメージ



2

地域支援プログラムの実績

- 和歌山県流通課—H31.20社、R1.36社、R2.30社（今年度は100%オンライン）
- 千葉市生活衛生課—R1.16社
- 大分県/大分市/大分食品衛生協会—多店舗外食1社
- 和歌山商工会—和歌山市外食7社
- 和歌山県社会就労センター協議会—新宮市15社
- その他、福井県6次産業化推進グループ、三重県中小企業・サービス産業振興課、埼玉県農業ビジネス支援課ほか